

授業科目 看護実践論

【担当教員名】 塚本 康子 他		対象学年	4	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 これまでに修得した看護学の知識・技術を統合し、安全で確実な看護を実践する能力を養う。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1・状況をアセスメントして必要な看護を行う上での方法・注意点が挙げられる。 2・自己の看護学の習得状況を踏まえ、安全で確実な看護技術を実践ができる。 3・これまでの看護学の修得状況を振り返り、自己の看護実践における課題を考察する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	ガイダンス・領域別課題提示			1, 3	講義
	医用器機管理			1, 2, 3	講義・演習
	医用器機管理			1, 2, 3	講義・演習
	看護技術実践			1, 2, 3,	講義・演習
	看護技術実践			1, 2, 3	講義・演習
	看護技術実践			1, 2, 3	講義・演習
	看護技術実践			1, 2, 3	講義・演習
	まとめ			3	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		適宜配布			参考書等は、後日提示する。
【評価方法】 出席・態度・成果物			【履修上の留意点】 4年間を通して学んだ看護を統合して安全・確実に実践できるよう、各自が真摯に取り組んで欲しい。 各看護学領域から提示される課題のうち、希望する課題（自己の探究心・補習や強化したい事柄）を選択して、取り組む。		